

主役は僕らだ 記憶に刻め熱狂の渦



特別版
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2026

第512号

一面：卒祝会に向けた動きを取材！
二面：学年主任郷野先生にインタビュー

61 回生卒祝会、本日開催 二兎も三兎も追いまくれ!!!

今年の卒祝会は午前中に体育祭、午後に室内企画が実施される。体育祭では特進対進学という対決軸のもと、男子は障害物競争と BATTLE ROYAL の2種目、女子はでかパンリレーとレスキュー綱引きの2種目、全体種目として大玉送り、エキシビジョンマッチとして男子サッカーの計6種目が行われる。午後は、室内企画としてバンドの演奏など後夜祭をイメージした様々な企画が予定されている。



意地と熱のぶつかり合い
一人一人の力を合わせて勝利を引き寄せる
(画像は卒祝会委員作成の動画から引用)

「本気の体育祭を作りたい」

卒祝会の屋外企画運営にあたる実行委員の菅野友祐さん(3上)によると、錦城高校には体育祭がないことに着目し



息を合わせてでかパンで
駆け抜ける(上)

「自分たちで、本気の体育祭を作ろう」と思ったのが始まりだという。「今までと同じ形ではなく、61回生だからこそできるもの」を。そんな思いから、軸となる「進学VS特進」の対決構造が生まれた。

「ガチだけど、みんなが主役になれる環境を作る」を意識し、運動が得意な人が熱くなれる種目を入れつつも、戦略や判断力によって勝敗が変

高鳴る鼓動 最高のステージが、今始まる 出演者に聞く準備ウラ話

バンド「サカナは眠らない。」は、バンドの全員が揃う最後の機会であるため今回の出演を決めたという。「練習の時間が取れず本番を迎えることになるので焦りまくります」とメンバーの星このかさん(3A)。出演できるのかわからないメンバーがいたというハプニングもあったそうで、「最後の機会に出させてくださいお願いしますって直談判にも行きました」と明かした。61回生へ「錦城高校での3年間の全ての出会いへの感謝を込めて演奏したいと思います！最後のサカナをぜひ楽しんでください！」とメッセージを送った。



「感動を届けられるような演奏をします!!!」※



「楽しませられるように全力で
アイドルします!!!」※

アイドルのカバーダンスで出演予定の「きゅりんってしてみた」の4人。後夜祭で声援をもらったのが本当に嬉しかったというメンバーの北原名彩さん(3上)は、「またこのメンバーでアイドルきたら」と思い応募したそう。もともと9人構成の曲もあり、4人向けに編成することに苦戦したと話す。「上手に踊るというよりは可愛らしく踊ることが大事なので難しかったです」とその苦労を明かした。「みなさんの声援が私たちのパワーになるので、名前とかたくさん叫んでくれると嬉しいです！ぜひ推しを作って帰ってください♡」とメッセージを送った。(泰) ※写真は後夜祭の時のものです

「自分たちで、本気の体育祭を作ろう」と思ったのが始まりだという。「今までと同じ形ではなく、61回生だからこそできるもの」を。そんな思いから、軸となる「進学VS特進」の対決構造が生まれた。「ガチだけど、みんなが主役になれる環境を作る」を意識し、運動が得意な人が熱くなれる種目を入れつつも、戦略や判断力によって勝敗が変

「自分たちで、本気の体育祭を作ろう」と思ったのが始まりだという。「今までと同じ形ではなく、61回生だからこそできるもの」を。そんな思いから、軸となる「進学VS特進」の対決構造が生まれた。「ガチだけど、みんなが主役になれる環境を作る」を意識し、運動が得意な人が熱くなれる種目を入れつつも、戦略や判断力によって勝敗が変

会の開催に向けて試行錯誤を
重ねる(門前先生提供)

「自分たちで、本気の体育祭を作ろう」と思ったのが始まりだという。「今までと同じ形ではなく、61回生だからこそできるもの」を。そんな思いから、軸となる「進学VS特進」の対決構造が生まれた。「ガチだけど、みんなが主役になれる環境を作る」を意識し、運動が得意な人が熱くなれる種目を入れつつも、戦略や判断力によって勝敗が変

※※※

卒祝会委員の尽力によって開催される今日の卒祝会。そのことへの感謝を忘れずに楽しい会にしましょう!

「出会ってくれてありがとうという気持ちでいっぱい」 学年主任語る

61 回生学年主任の郷野康輔先生は 61 回生が卒業を迎える今、3 年間を支えてくれた戦友と別れるという思いだといひ、61 回生に対して「出会ってくれてありがとうという気持ちでいっぱいかな」と感謝を口にした。縁という言葉大切にしている郷野先生は学年団の中で誰よりも生徒の顔と名前を覚えること、学年全員と会話をたくさんすることを大切にしていたといひ、「それが 474 通り (61 回生 474 人) の縁を行動で示すことだったと思う」と話してくれた。先生にとって 61 回生はいつも近くにいてくれる存在だったと語り、「お前らがいるから学校に来なきゃなって思えたという意味でも、自分の思考の根源にもなっていたんじゃないかな」と振り返る。



「錦城に帰ってくる余裕がない、充実した人生を送ってほしい」



最後の体育の授業で集合写真!!

一番の思い出について聞くと、宿泊研修や修学旅行など様々な行事を挙げたうえで「でも、やっぱりみんなと過ごした普通の体育の授業かな」と語った。みんなの笑顔や悔しが顔が好きだったと振り返る郷野先生は、特に各クラス最後の体育の授業では感傷的になったといひ、その時に撮影した記念写真は今でも大切にしているという。

新天地へ旅立つ 61 回生に向けて「(錦城に) 帰ってくるなよ、たくさん恋をしなさい、この二つを伝えたいかな」と話す。単に恋愛をしてほしいということではなく、人に限らず夢中になれるものを見つけそのことに打ち込むことで、新しい場所での生活に一生懸命になってほしいということだといひ。「是非みんなには錦城に帰ってくる余裕がない、充実した人生を送ってほしいね」とメッセージを送った。(蘭)

「卒業おめでとう！」

錦城での 3 年間はどうか? この 3 年間で成功したこと、失敗したことを反省し、自分を知り、これからの自分に活かす。これからも現状に満足することなく、常に目標を定め、今の自分に必要なことを自覚し、克服していく。自分の目標は、自分で決める。そのために学び続ける。そんな人生を歩んでほしいと願っています。(山田功司)

阪神ファンとガンバサポは連絡ください。奢るので観戦行きましょう。(島田航一郎)

これから先、どの道を進むべきか迷っていたら 未来の自分に聞くとよい 前へ進めと声が届く (木村俊介)

病気になるって分かる健康の大切さ。皆さん体をいたわりつつ頑張ってください。(松本文夫)

みなさんと過ごしたのは一年間だけですが、おかげさまでリパブル FC はリーグ優勝することができ、とても幸せな思い出として残り続けます。(納富健児)

愛嬌たっぷりな学年で、とても楽しかったです。ありがとうございました! 高校で結ばれたつながりはきっと一生ものです。ぜひ、これからも大切にしてください!(山脇颯馬)

長かったようで短かった 3 年間、充実させることができましたか? 元 2I の皆さん、語彙テストは上がりましたか? 本当は今年度も皆さんと一緒に過ごしたかったのですが、頼れる先輩方に託しました。たまに廊下で会うとにこっとしてくれて、とても嬉しかったです。これからも皆さんのことを陰ながら応援しています。(高橋滉)

一期一会の出会いを大切に! これからも応援しています!(柴田慶一)

楽しい思い出も辛い思い出も、錦城高校の 3 年間で経験したこと全てが皆さんの今と未来を形作っていきます。これまでの出会いや支えてくれた人達への感謝を忘れず、これから出会うたくさんの人を笑顔にできるような大人になってください。応援しています。(松橋遼)

3 年間、お疲れさまでした。私のことは忘れても錦城高校のことは忘れなてください。感謝。(郷野康輔)

去年、一昨年と、授業担当として 61 回生の皆さんと関わりましたが、いろいろな意見が飛び交う、楽しい時間でした。どこに行っても、「なぜ?」と思う気持ちを忘れずに! みなさんのこれからを応援しています。(神田智衣)

君たちの未来は輝いています。前進あるのみです。(小野寺昭彦)

61 回生の皆さんが、愛し愛され、生きていて良かったと思えるような、幸せな人生を歩んでいくことを、心より祈っております。(神谷洋行)

これからの人生は自分次第でどうにでもなります。皆さんの未来が素晴らしいものになりますように、心から願っています。(門間陸弥)

3 年間、毎日最高にたのしかったです! みんなとの日々を忘れずに私も頑張ります。皆さんも錦城での思い出、出会った仲間を大切にこれからを過ごしていきましょう。ありがとう!(鈴木和)

笑いが絶えず、元気で、気配りのできる学年でした。皆さんと一緒に過ごせてとても楽しかったです。ありがとうございました!(後藤知子)

幸あれ!(菅野優香) Carpe Diem (北川資人)

皆さんと一緒に参加した宿泊研修が、昨日の日のように思い出されます。3 年間を振り返ると、楽しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったことがあると思います。けれども色々な感情を「ぎゅっ」と心にしまつて旅立ちの日を迎えて下さい。生きてるだけでエライです。春から始まる新しい舞台で、皆さんが心を燃やして自分の道を行ってくれることを、心から祈っています。幸せになって下さい。(石井智)

実直に学びを続けていて下さいね。(稲垣秀隆)

みんなと過ごした 2 年間。出会えてよかった。楽しかったよ!(横田さくら)

時にはリスクを取らなければ開かない道があります。挑戦を続けてください。(阿部美都樹)

真っ直ぐ進め(栗林健一郎)

錦城の生活を通して、得たもの、経験したもの、失ったもの、良かったこと、悪かったことも、全て、いつか意味を持つ日が来ます。皆さんの未来はまだまだ可能性に満ち溢れています。たまには錦城高校に遊びに来て顔を見せてください。お元気で!(福江幸喜)

これからも様々な経験を通して豊かな人生にしていってくださいね。(植田健)

どのような成長ができた 3 年間で すか? 日々勉強の積み重ねを大切にしてください(朝倉佑季)

現代文の裏テーマは「倫理」だとおもっています。政治や社会が弱者の声を圧殺している現在であっても、他者の言葉から他者をちゃんと受けとめていく終わりのない実践が、世界をよいものにしてくれると信じて、お互いに日々の言葉にふれていきましょう!(設楽大)

入学してから 3 年間、私たちがたくさん先生の先生に出会い、勉強を教わった。お世話になった先生方から一言、61 回生に向けてメッセージをいただいた。(※)

先生たちからお祝いの言葉

(※)敬称略、ご多忙のため一部の先生方よりお話を伺うことが叶いませんでした。楽しみにして下さった読者の皆様へ深くお詫言申し上げます。